

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



江戸より三香月の宿
神奈川
東海道五十三次
 神奈川宿は、神奈川湊ともつ宿駅としてその役割を果たしてきたが、安政六年（一八五九）の横浜開港にさきだて、神奈川を開港場にすべきと要求する諸外国との国際外交の舞台となった。

▲ここはアメリカ領事館跡で、住時をしのぼせる。

宿内の再臨は諸外国の公館として利用され、さらには海面には台場が築かれ、外国侵攻の防衛の役割も課された。



六重の絵の場所合町は「名物のうまいもの」現在マンションが立ち並び、住宅地となっている。浦島伝説にちなんでカメを絵と同地点で営業する「かたどった素朴な味わいの料亭がある。瓦せんべい。むかしは茶屋の軒先で職人が焼いていた。地帯がかつて海にせり出した崖であったことを思わせるおもしろい。宮前商店街内の稲葉寺屋、浦島満が「元祖魚の甲せんべい」看板を引き継いでいる。

本覚寺から青木橋交差点を撮る。

